



新しい緑のあり方を探る

2021年

1月22日(金)

13:00~16:00

You Tube
LIVE配信

1990年に鶴見緑地で開催された花の万博は、地球規模での温暖化、森林の減少、酸性雨など環境問題に関心が高まる中、自然と人間との共生をテーマに、東洋で初めて開催された園芸博覧会でした。当時最新の緑化技術、栽培技術はもとより自然と人間がどのように歩んでいくべきか問うものでありました。あれから30年、異常気象の進行、コロナ禍で生活が変容した今、緑により何ができるのか。当時の万博の理念はどのように広がり、受け継がれたのか。公園行政、パークマネジメント、緑化技術の3つの分野からの講演を基に議論を深め、今後の道筋を示します。

(公財)国際花と緑の博覧会記念協会の公式チャンネルでライブ配信を行います。
どなた様でもご視聴いただけます。

https://youtu.be/Osi_kQQV6G8

配信の録音、録画、撮影はご遠慮ください。



登壇者

各講演の終了後、講演を基にコーディネーターと約10分間のトークセッションを行います。



五十嵐 康之

いがらし やすゆき
国土交通省 都市局
公園緑地・景観課長

1986年建設省入省、2002年福井県都市計画課長、2006年山梨県甲斐市副市長、2012年国営昭和記念公園事務所長、2014年都市局公園緑地・景観課事業調整官、2016年横浜市環境創造局みどりアップ推進担当部長、政策局理事、2018年都市局緑地環境室長を経て、2020年より現職。
1990年の国際花と緑の博覧会には建設省花の万博推進室係長として開催推進等を担当。



堀越 良一

ほりこしりょういち
大和リース株式会社
執行役員 大阪本店長

昭和39年(1964年)生まれ。
昭和62年名城大学法学部法学科卒業。昭和62年より大和リース株式会社に入社、名古屋支店にてロードサイドの店舗開発及び複合商業施設開発の営業に携わる。2004年より奈良支店、神戸支店、名古屋支店の支店長を務め、2014年同社の執行役員に就任する。2015年流通建築リース事業部副事業部長と新規事業であるコインパーキング事業部において事業部長を兼任、2020年より現職。



木田 幸男

きだ ゆきお
(一社)グリーンインフラ総研
代表理事

昭和24年(1949年)大阪府生まれ。平成17年金沢大学大学院自然科学研究科終了。昭和49年、東邦レオ株式会社入社、緑化関連事業部創設。土壌・緑化技術の研究、開発を主業務とし、日本造園学会、日本緑化工学会等を通じて官・学・民における緑化技術を推進。平成30年一般社団法人グリーンインフラ総研を設立、グリーンインフラの国内実装に向けて活動中。国土交通省グリーンインフラ官民連携プラットフォーム技術部会幹事(2020)博士(理学)、技術士建設部門(都市及び地方計画)、樹木医(登録第26号)

13:05
13:40

講演 1

13:50
14:25

講演 2

14:50
15:25

講演 3



コーディネーター

梶木 典子

かじきののりこ
神戸女子大学教授

昭和39年(1964年)生まれ。奈良女子大学大学院人間文化研究科修了、博士(学術)。2003年4月から神戸女子大学家政学部へ、現在に至る。特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会副代表、IPA(子どもの遊ぶ権利のための国際協会)日本支部事務局長、神戸市教育委員等。全国の冒険遊び場づくり活動の実態、子どもの遊び環境の現状や経年変化など、子どもの遊び環境について継続的に研究。近年は、移動型遊び場と公園の活性化に関する研究に取り組み、ドイツのプレイバス連盟と交流しながら研究を進めている。また、神戸市内の公園において大学生が関わる移動型遊び場の実践にも取り組んでいる。

15:35
16:00

総 評

造園CPD
2.5単位

お問合せ

(公財)国際花と緑の博覧会記念協会

TEL:06-6915-4516

Mail: clover@expo-cosmos.or.jp

